

【マイナポイント第2弾】 のメールに注意! 偽メールです!

名寄市 消費生活センター通信

問い合わせ 消費生活センター ☎01654@3575



事例

パソコンに2万円のポイントを受取れるというメールが届いた。題名に『【マイナポイント第2弾】20,000円分のポイントプレゼント!』とあり、「申請を始める」というリンクが貼ってあるが差出人は不明で怪しい。ほかの人が見て申請するかもしれないと思った。情報提供する。(30代 男性)



▲マイナポイント
第2弾は終了しました

- ◆マイナポイント第2弾は令和5年9月30日で終了しています。このようなメールが届いたときは、メールを削除しましょう。
- ◆「記載のURLをクリックすると、偽サイトに誘導されて、氏名や住所、電話番号などの個人情報の入力や運転免許証やキャッシュカードの画像を送るよう求められる場合があります。決して入力しないようにご注意ください。
- ◆日ごろから個人情報やクレジットカード情報等に入力を要求された場合は、一度立ち止まり、似たようなフィッシング事例がないか、確認するようにしましょう。



アド
バイス

困ったときは、
早めに消費生活
センターに相談
してください。

COLUMN*

[VOL.69]

なよろっぽい家づくりの会



寒冷地域の住宅

<閉鎖型住宅>の要件

①気密性

隙間相当面積[C]値で表され、数値が小さいほど気密性が高いとされます。

$$C値 = \text{家全体の隙間の合計}(cm^2) + \text{建物の延床面積}(m^2)$$

※床面積1mあたりのすきま面積(cm²)

簡単にいうと、どれだけ気密の高い(すきまの無い)家かという目安です。数値は、「気密測定」という検査方法で実測して算出します。

以前は、寒冷地では2.0cm/m、その他の地域では5.0cm/mと国の基準が示されていましたが不思議なことに現在はありません。この数値は設計時(施工前)に算出・推測出来なく、完成間近か、あるいは完成後、実測によってのみ出せる数値なのです。

このことから家の最も重要な”性能品質”である気密性は、工法あるいは現場施工の善し悪しに大きく左右されるということを物語っています。

②断熱性

以前は熱損失係数[Q]値で表されていましたが、現在では外皮平均熱貫流率[Ua]値で表されるようになりました。[Q]値、[Ua]値の算出にはそれぞれに前提となる考え方があり、一長一短があると思います。

どちらにしても設計段階で算出し、数値が小さいほど断熱性が高いことを示します。

$$Q値 = \text{熱損失量}(w/k) + \text{延べ床面積}(m)$$

※吹き抜けは床面積に換算し、換気量も考慮

$$Ua値 = \text{熱損失量}(w/k) + \text{外皮面積}(m)$$

※外皮面積とは床、外壁、窓、玄関ドア、屋根など外気と接する面積の総計

③計画換気

①気密性、②断熱性が確保されると、換気的设计が確実なものとなります。



■問い合わせ なよろっぽい家づくりの会事務局
(NPO法人なよろ観光まちづくり協会内)
☎01654@6711